

各 位

※訂正・再送 先日送信いたしました会長談話に1点誤りがございました。

2段落目の上から4行目「過去10年の累積でおよそ25億円もの逆ザヤ」としていましたが、正しくは「過去10年の累積でおよそ250億円もの逆ザヤ」です。お詫びして訂正いたします。

福岡県歯科保険医協会は、2019年4月12日に下記の会長談話を発出いたしました。

宜しくご査収のほどお願い申し上げます(本状含め2枚です)。

【連絡先】〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目2-3 博多駅前第一ビル8階  
電話 092-473-5646/FAX 092-473-7182 担当事務局 七里

厚生労働大臣  
根本 匠 殿

会長談話

## 歯科医療機関が抱える金パラ逆ザヤ問題を 一刻も早く解消するよう求める

歯科鑄造用金銀パラジウム合金（金パラ）の市場価格が異常高騰し、歯科医療現場の経営圧迫に拍車をかけている。特に昨年下半年以降、パラジウム地金相場高騰のあおりを受け、金パラの市場価格は昨年9月に比べ、実に約37%も上昇しているのである（今年3月時点での価格。当会調べ）。

このような異常な状況にもかかわらず、金パラ保険告示価格の4月の随時改定は見送られ、歯科医療機関に医療材料料の「逆ザヤ」を押し付ける格好となっている。過去にも金パラ保険告示価格については、地金相場の変動や市場価格との乖離が問題視され、告示価格改定方法の見直し等もなされてきた。だがそうした対応でも、過去10年の累積でおよそ250億円もの逆ザヤを現場に負わせたことからわかる通り、根本的な改善策とは言い難い。急激な価格変動への対応ができないシステムそのものを見直す時期である。

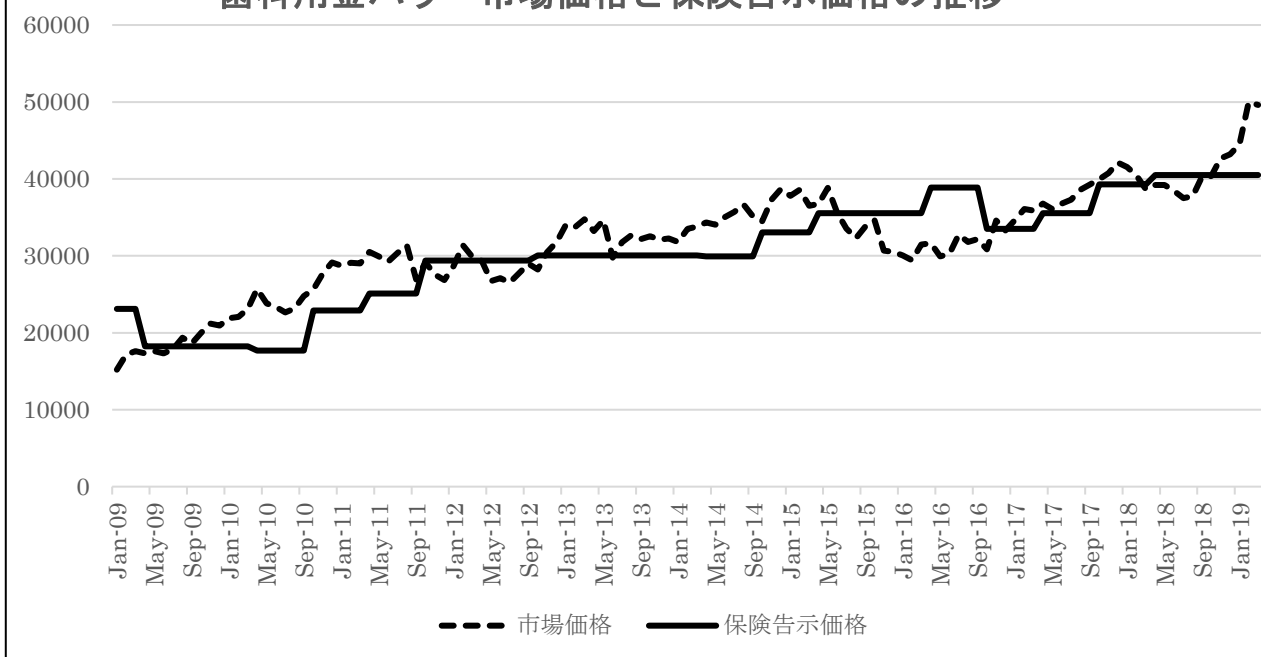
そもそも歯科保険診療は公的医療制度の一端を担っており、健康保険法や療養担当規則等で使用材料に大きく制限を設けながら、一方で国の責任を歯科医療機関にマイナスとして負わせることは到底許されない。

歯科医療機関の経済的負担は増す一方であり、患者に提供する医療の質にも影響しかねない。政策的責任を負う厚生労働省には、金パラ告示価格改定に関する市場価格調査結果や材料料決定のプロセスと根拠を明らかにすることとあわせ、歯科医療機関が抱える金パラ逆ザヤ問題を一刻も早く解消するよう求める。

2019年4月12日

福岡県歯科保険医協会  
会 長 大 崎 公 司

### 歯科用金パラ 市場価格と保険告示価格の推移



～2014年3月消費税率5%、2014年4月～消費税率8%

### 金パラ市場価格と保険告示価格との損益合計額推移

